

速報



平成25年度 特定健診受診状況

平成25年8月末現在

	対象者数	受診者数	受 診 率
計	4,231	650	15.4%
昨年同期【参考】	4,309	630	14.6%

8月末現在で15.4%と、昨年同期と比較すると0.8%増となっています。

ぜひこの特定健診を受診して健康管理に役立ててください。

特定健診とは40歳～75歳までの方を対象に、糖尿病や心臓病、脳卒中などの生活習慣病と深い関わりをもつメタボリックシンドローム（※1）の早期発見、予防を目的とした健診です。被保険者の皆様には今年の6月に「受診券」をお送りして健診のご案内をしていますが、もう受診されましたか。

生活習慣病にかかると、長期入院を余儀なくされてしまうと、年度の特定健診は、10月24日～25日に実施する住民検査（八雲地域）（※3）と、来年2月実施予定の農協ミニドック（受診者に限りがあります）を残すだけとなっていますので、まだ受けられない方は、ぜひ受診をご検討ください。

※1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群） 内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうち、2つ以上に当てはまる状態のことをいいます。

※2

受診するかしないかは、あくまでご自身の判断になります。健診を強要するものではありませんが、健康を保つためには、体の状態を知ることも大切だと考えています。

※3

住民検診の詳細は12ページをご覗ください。

今年の特定健診はもう受診されましたか？

れ、また多額の治療費がかかりますことから、皆様方ご本人やご家族にとつて大きなダメージを受けることになるほか、

八雲町国保にとっても、医療費負担が増えるので、財政運営が厳しくなってしまいます。

そうならないためにも、この特定健診を受診され（※2）、健康チェックに役立ててください。



知ってね！総合病院

私たちの知識が、お役にたてれば嬉しいです

「地域連携による感染対策：Y-IC-NET」



臨床検査技師
山田 光雄

臨床検査技師は、検査室内での検査が主たる業務ですが、町民ドックや町民検診での検査などもおこなっています。その他、八雲感染対策ネットワーク（Y-IC-NET）がおこなう地域の感染対策活動の役割も担っています。

Y-IC-NETは当院・今金国保病院をはじめ、八雲町・今金町・せたな町3町の主要な保育園、幼稚園、小・中学校、老健等の介護・福祉施設、行政の保健関連部署など44施設が参加し地域の感染対策をより充実させる目的で設立された組織です。検査技師は当院の感染症情報報をリアルタイムにその内容を分析し、インターネットを介して加盟施設に情報を提供したり、また町民の皆様には、ブログやメールマガジン等で各種の感染症の発症状況・症状・治療・予防などの情報を提供しています。

活動内容等はY-ICブロガにアップされています。（<http://yakumokansen.sblo.jp/>）